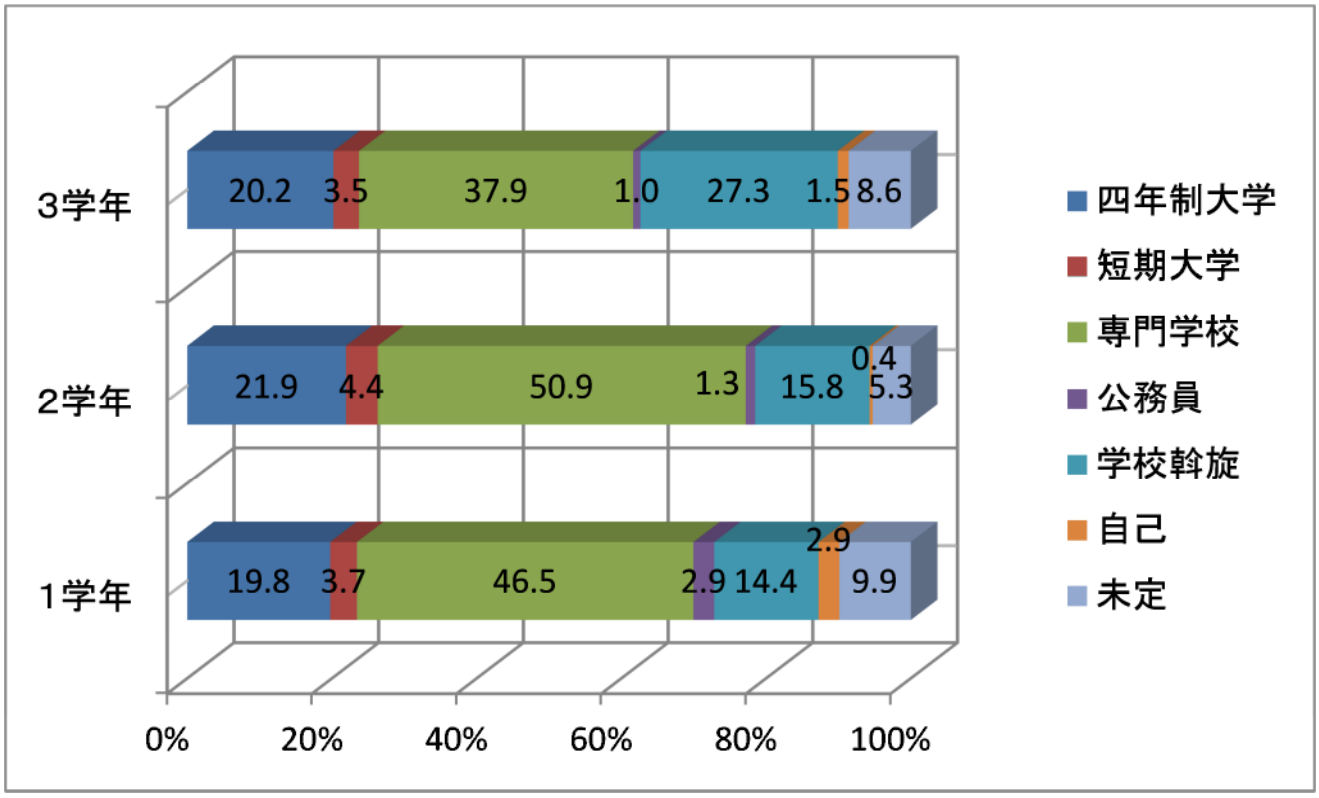
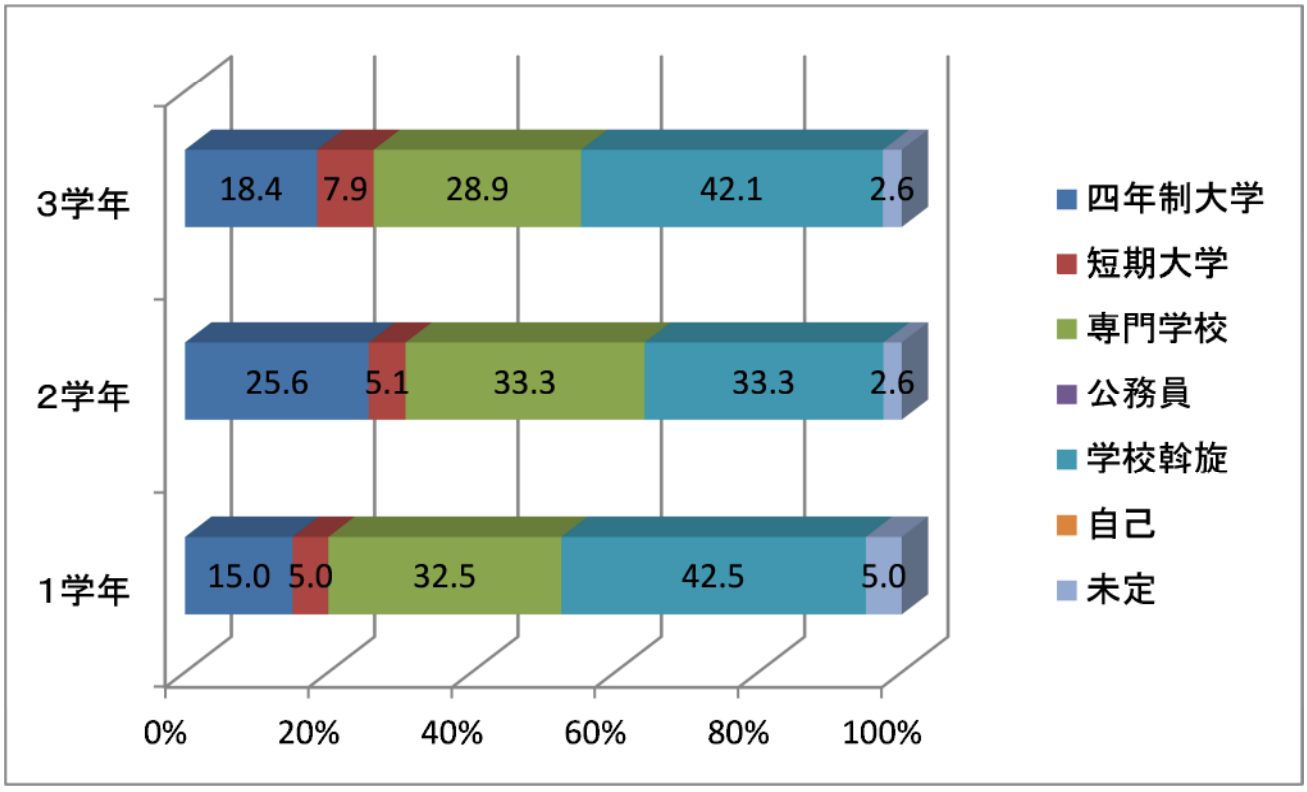
# 第1回　進路希望調査集計結果（平成24年4月実施）

（普通科）




（福祉教養科）



**進路希望調査とともに，生活状況調査も行った。それらをあわせたコメントを載せる。**

**（1学年結果のコメント）**

・普通科は、進学希望（特に専門）が多く、就職希望者が少ない。進学については男女とも文・文化系が多く、どのような進路を考えているか気がかりである。
・両学科とも、それぞれの分野の未定者をどう指導していくかが重要と思われる。特に普通科は４０％の生徒が未定である。
・家庭学習については、両学科とも十分とは言えず、宿題を課す等、学習させる状況を作り出す必要があると思われる。
・将来の職業意識については両学科ともそれなりに持っているようだが、進路未定者を増やさないことが重要と思われる。
・両学科とも自分の学力不足をそれなりに認識しているようなので、学び直し等の実施は生徒のニーズに合致していると思われる。
・両学科とも生活態度を改めようという意識が高く、本校の生活指導を徹底させる良い機会である。
・アルバイトに関しては、今のところ少ないが今後増えていくと思われるので、バイトと家庭学習の両立を考えさせる必要がある。

**（2学年結果のコメント）**

・昨年度の１月の調査と比べて、普通科、福祉科ともに未定者の数が減っているが、大学、短大、専門学校、就職ともにどの分野をやりたいかが決まっていない生徒が若干多い。
・公務員が３名いるが、公務員についてのガイダンスや説明会をもっと充実させる必要がある。
・ＤとＥの質問に対して、そう思うと答えた生徒の割合が昨年度１月の調査に比べて増えていることがわかった。意識は少し持ち始めてきている。
・授業が始まっていないこともあったが、１週間で４日以上バイトをしている人の割合が大幅に上がっている。
・家庭学習習慣がまったく身についていない。これから就職試験や受験に備える為に、家庭学習習慣を考えて行く必要がある。

**（3学年結果のコメント）**

・普通科の大学希望の男子の未定７人、女子の未定４人の学科を早く決めさせたい。
・普通科の専門学校希望者で、女子の医療系９人と教育の１２人が多いので情報等を多く出したい。男子の未定８人も多い。
・普通科の就職の男子未定１３人、女子未定１２人を早く職種を考えるようにもっていきたい。
・福祉科の大学、短大、専門学校希望者はオープンキャンパスへ参加し、受験方法を早めに決めさせたい。
・福祉科の就職で、介護の女子８人と、介護以外の８人については受験したい会社を絞り込ませたい。